ボランティア保険ご案内

ボランティア活動保険

ボランティア活動中に、ボランティア自身がケガをした（傷害事故）、他人にケガをさせてしまった、他人の物を壊してしまった（賠償事故）などの事故を幅広く補償します。

保険プラン	Aプラン	Bプラン	Cプラン
基本プラン年間保険料	250円	300円	500円
天災プラン年間保険料（基本プラン年間保険料を含む）	400円	500円	800円

	保険金の種類	補償概要（事故発生日から180日以内）	保険金額（補償の金額） Aプラン	Bプラン	Cプラン
傷害事故（注1）	死亡保険金	死亡・後遺障害保険金額の全額をお支払いします。（注2）	620万円	840万円	1,230万円
	後遺障害保険金	後遺障害の程度に応じて死亡・後遺障害保険金額の42～100%をお支払いします（注3）			
	入院保険金（1日につき）	入院日数1日につき、入院保険金日額をお支払いします。	4,400円	5,400円	8,400円
	通院保険金（1日につき）	通院日数1日につき（90日を限度として）通院保険金日額をお支払いします。（注4）	2,800円	3,200円	5,800円
	手術保険金	入院中に受けた手術は入院保険金日額×10、入院中以外の手術は入院保険金日額×5の額をお支払いします。			
賠償責任補償	対人・対物共通	第三者の身体または財物に損害を与え、または名誉毀損やプライバシーの侵害により法律上の損害賠償責任を負った場合に、お支払いします。	5億円（限度額）		
	人格権侵害				

（注1）傷害事故の保険金は、健康保険・生命保険・加害者からの賠償金などとは関係なくお支払いします。事故発生日を含めて180日以内の死亡・後遺障害・入院・通院・手術について保険金をお支払いします。
（注2）既にお支払いした後遺障害保険金がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした金額を控除した残額をお支払いします。
（注3）保険期間（保険のご契約期間）を通し合算して死亡・後遺障害保険金額が限度となります。
（注4）平常の生活またはお仕事に支障がない程度に治ったとき以降の通院に対しては、保険金をお支払いできません。
○ 特定感染症（1類、2類、3類）により発病の日から180日以内に死亡した場合、葬祭費用として300万円を限度に葬祭費用の実額をお支払いします。

天災プランとは…

地震もしくは噴火、津波及びこれらにともなって生じた事故等の死亡・後遺障害・ケガも補償します。以下の特約が付帯され、補償内容がグレードアップしますのでおすすめです。
（天災危険補償特約・第三者加害行為等による傷害保険金倍額支払特約）

ボランティア行事用保険

社会福祉協議会及び民間のボランティア活動推進団体が主催者となって、ボランティア活動に関わる行事を行う際の、主催者および参加者のケガ（傷害事故）と、主催者が賠償責任を負った事故を補償します。

※ 日帰B・C行事/宿泊行事保険料及び死亡補償改定

行事区分	日帰				宿泊					
	1日1名につき				1名につき					
	A行事※	B行事※	C行事※	現地集合型（A行事のみ）	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日
保険料	30円	127円	248円	30円	222円	272円	278円	328円	334円	340円

	保険金の種類	補償概要（事故発生日から180日以内）	保険金額（補償の金額）
傷害補償（注1）	死亡保険金	死亡・後遺障害保険金額の全額をお支払いします。（注2）	315万円
	後遺障害保険金	後遺障害の程度に応じて、死亡・後遺障害保険金額の4～100%をお支払いします。（注2）	315万円（限度額）
	入院保険金（1日につき）	入院日数1日につき、入院保険金日額をお支払いします。	3,300円
	手術保険金	入院中に受けた手術は入院保険金日額×10、入院中以外の手術は入院保険金日額×5の額をお支払いします。	
	通院保険金（1日につき）	通院日数1日につき（90日を限度として）通院保険金日額をお支払いします。	2,200円
賠償責任補償 対人	1名1事故	第三者の身体・生命を害し法律上の損害賠償責任を負った場合に、保険金をお支払いします。（多数の第三者に事故が発生した場合は、1事故を適用します。）（注3）	2億円（限度額）
賠償責任補償 対物	1事故	第三者の財物に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負った場合に、保険金をお支払いします。（注3）	1,000万円（限度額）

・「ケガ」とは急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被った傷害をいいます。なお傷害には細菌性・ウィルス性食中毒を含みます。
・日帰行事ABCにおいて、事故発生時に名簿または参加証明書を提出できない場合は、保険金が支払われない場合があります。
※ A・B・Cの行事区分は内容により異なります。

（注1）傷害補償の保険金は、健康保険・労災保険・生命保険・加害者からの賠償金などとは関係なくお支払いします。事故発生日を含めて180日以内の死亡・後遺障害・入院・通院・手術について保険金をお支払いします。
（注2）保険期間を通し合算して死亡・後遺障害保険金額が限度となります。
（注3）免責金額（自己負担額）は対人・対物事故ともにゼロとします。

● 社会福祉法人向け役員賠償責任保険及び福祉ふれあい活動総合補償等の「福祉に関する保険」も取り扱っております。
詳しくは愛知県社会福祉協議会ホームページ「福祉の保険」をご覧ください。

※お申し込み、ご照会は下記の市区町村社会福祉協議会まで

〒461-0011　名古屋市東区白壁1丁目50番地
愛知県社会福祉協議会 総務部　TEL 052-212-5500　FAX 052-212-5501

代理店・扱者　〒460-0008　名古屋市中区栄2-2-31　ニュープラスビル7階
株式会社ニュータス（愛知県社会福祉協議会 指定代理店）　TEL 0120-258-517　FAX 052-204-8988

令和6年度「子どもの居場所づくり応援事業」実施報告書（子ども食堂取組事例集）
社会福祉法人愛知県社会福祉協議会　地域福祉部
〒461-0011　名古屋市東区白壁一丁目50番地　TEL (052)212−5502　FAX (052)212−5503
令和7年3月発行

（愛知県補助事業）

令和6年度

「子どもの居場所づくり応援事業」

実施報告書

（子ども食堂取組事例集）

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会　地域福祉部

あ い ち ふ く し

あんしんして いきいきと ちいきで ふつうに くらせる しゃかい

®

もくじ

はじめに …… 1

▶ 子ども食堂の取組事例集

1. 一般社団法人つながり探究所（名古屋市守山区） …… 2
2. みんなの食堂（岡崎市） …… 4
3. 沖村子ども食堂　ちぃさん・コックさん（北名古屋市） …… 6
4. 武豊町社会福祉協議会 …… 8

▶「子どもの居場所づくり応援事業」実施報告書 …… 10

はじめに

昨年度に引き続き、今年度もこうして「子どもの居場所づくり応援事業」報告書をまとめることができました。事業の中核となる「子どもの居場所づくり推進会議」は、構成員が例年以上に多忙ななか、7月・3月の両会議はもとより、尾張・知多地区で12月、三河地区で1月にそれぞれ検討部会および研修会を今年度も行うことができました。また、「支援対象児童セミナー」も3月に行うことができました。

当推進会議が生み出した「あいち子ども食堂応援ステーション」（略称、あいステ）は県内36か所になりました（3月1日現在）。あいステをさらに増やすために、「あいち子ども食堂応援ステーション研修」を9月に初めて実施しました。こうした動きもあって、全国こども食堂支援センターむすびえの調査（2024年9月実施）では、愛知県内518か所で、前年度比増加数114か所、増加率28.22%になりました。しかし、小学校数が県内に961校あるうち、まだ314校区しか子ども食堂がありません（充足率32.67%／全国34.82%）。さらに人口比でみると6.91か所（全国9.98か所）にしかならず、都道府県ランキングでも38位に位置しています。

2023年12月、「こども大綱」が閣議決定されました。大綱は、こども食堂が「すでに多くのこども・若者の居場所」であり、「地域におけるこどもの意見反映・社会参画の拠点」になるよう環境整備すると述べています。また、大綱に先立って出された「こどもの居場所づくりに関する指針（こども家庭審議会答申）」では、こども食堂をはじめとするこどもの居場所づくりを進めるにあたって、①ふやす（多様なこどもの居場所がつくられる）、②つなぐ（こどもが居場所につながる）、③みがく（こどもにとって、より良い居場所となる）、④ふりかえる（こどもの居場所づくりを検証する）、の4つの基本的視点が明記されました。

こうした視点に立って、こども食堂をはじめとする「こどもの居場所」を愛知県内でもさらに増やし育てる取り組みが必要です。これから地域で「こどもの居場所」を広げていくために、本報告書が「こどもの居場所」をこれから立ち上げようとされる方はもとより、すでに運営される方や活動を支える方の一助として、ご活用いただければ幸いです。

令和7年3月

子どもの居場所づくり推進会議
委員長　中　村　強　士

一般社団法人つながり探究所 | 名古屋市守山区

●こども食堂開設年月日
2016年1月
●活動場所
愛知県名古屋市守山区緑ヶ丘901
緑ヶ丘センター104
●スタッフ人数
30人

●開催頻度
子ども食堂は不定期（月に1回程度）
つなしょは、水・木・金　10：00～17：00
●参加費
100円～500円（年齢や内容により変動あり）
●連絡先
一般社団法人つながり探究所　水・木・金10:00～17:00
TEL：052-794-1590
E-mail：obataryokutiboukenasobiba@gmail.com
HP：http://tunasyo.com/

活動のきっかけ

「子どもたちを幸せに育てたい!」という思いから子どもの居場所づくりを始めました。
公園の遊び場づくりから始め、駄菓子屋、フリースペース、子ども食堂と活動を広げてきました。

活動内容

終業式や始業式にピザーラさんよりピザの提供を受けて「1学期お疲れさまパーティー」「2学期もがんばろうパーティー」や、テスト前に中高生向けに「テストの予想をしようティーパーティー」など、子どもの楽しみになるような会の運営をしています。

また、夏、冬、春の長期休みにはお昼ご飯の提供をして、休み中の子どもたちがなるべく孤食にならないように活動しています。

食材の確保と活用

フードバンク愛知、セカンドハーベスト名古屋から来る食材を活かして料理をしています。

様々な食材が来るのでどうすればおいしくみんなに食べてもらえるか考えるのもスタッフのやりがいのひとつです。

スタッフの確保

スタッフは地域に住んでいる子どもたちのお母さんがメインです。

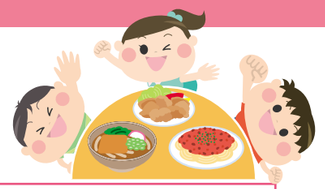
子どもたちとつなしょに通ううちに手伝うようになり、スタッフになった人もいます。

今後の目標

つなしょの由来は「人と人がつながる場所→つながるばしょ→つなしょ」です。

子ども食堂を通して地域の人たちとつながり、学校や家以外にも頼れる居場所があることを感じてもらい、子どもたちが幸せに育ち大きくなった時に「私の暮らしている町っていいところあるじゃん!」と感じてもらえるようなつながりを大切にした場所をこれからも作っていきたいです。

みんなの食堂 | 岡崎市



●設立年月日
2023年10月
●活動場所
藤川ログ + 複合施設内(岡崎市藤川町河原20-1)
●スタッフ人数
定着10名　都度ボランティア6名程
●開催頻度
月2回　第2金曜　16：00～19：00
第3日曜　11：00～14：00
●参加費
こども　無料(中学生まで)　大人　協力金500円
●連絡先
Instagram：@fujikawa_log_kodomosyokudo

活動のきっかけ

地域のイベント(神輿、お祭り)や行事(子供会)などが無くなってしまい、こども達の記憶に残るような事をしてあげたいと思い、活動を始めました。

場所の確保

自社施設の藤川ログ+複合施設内にて行っています。

運営費の確保

来場者の大人の方からの500円の協力金や県、市の助成金で運営しています。また、支出の部分も、食材を近隣企業様へ依頼する事で最大限抑えています。

参加者集め

近隣小学校へのチラシ配布や回覧板、SNSでお知らせし、参加者を集めています。

スタッフの確保

地域の回覧板などで声掛けをしてスタッフを集めています。また、当日来たこども達に運営のお手伝いもお願いしています。

活動内容

地域の居場所作りとして、こどもだけでも、お年寄りだけでも参加可能にしています。

活動で大切にしていること

誰でも参加可としています。貧困層、片親向けのイメージが未だにあり、大人やこども達の中でもネガティブな印象を払拭する事が大切に感じます。誰でも行きやすい雰囲気作りが本当に苦しんでいる家計やこども達にストレス無く行き届きやすいと考えています。

また、寄付頂いた食材でロスが出ないように心がけています。

団体の特徴

地域の居場所を作る事で災害や非日常が起きた時の予防になると考えています。こども食堂で炊き出しや防災に関わる学び等を楽しく行う事や、顔見知りが増える事で近隣住民同士が見守り隊の代わりになります。そんな住みやすい町をこども食堂を通じて目指したいと思っています。

アピールポイント

私たちのこども食堂は「みんなの食堂」と名前の通りですが、こどももお年寄りもどなたでも来れる環境作りを目指しています。全員がボランティアで成り立っているので、とても暖かい雰囲気になっています。また、こども食堂をきっかけに顔見知りになったり、活動の中にイベントを取り組んだり、防災学習を取り組んだり、炊き出しを取り組んだり、神輿をやってみたりなど、こども達が大人になった時に自分の生まれた故郷にまた戻って来たくなるような誰もが楽しめる取り組みを取り入れています。

是非一度、地域外の方もお越しください。今までのこども食堂の印象が変わるかと思います。

今後に向けて

こども食堂が地域にとって更に身近な場所になり、こども食堂をきっかけに無くなってしまった地域のお祭りや神輿などを行ったり、防災リテラシーを上げて非日常でも使える知識を、こども食堂を通じて学びの場にしていければと考えています。こども食堂でのこどもが中心となり地域のまちづくりに関わっていければと感じています。

沖村子ども食堂 ちぃさん・コックさん | 北名古屋市

●設立年月日
2022年6月1日
●活動場所
沖村公会堂
●ボランティア人数
15人前後

●開催頻度
月に1回　第1土曜日　12：00～14：00
（地域行事により日程変更あり、詳細はSNSにてご確認ください）
●参加費
子ども　無料（中学生まで）　大人　500円

活動のきっかけ

北名古屋市で開催していた農業塾に入り野菜づくりを習得、食に対しての意識を高め、地元沖村で地域の人たちに食を通してゆるく繋がりを作れる場所を作りたい、食の大切さを伝えたいと思い、地元沖村で活動を開始しました。

私たちにできること

地域にはそれぞれの役割がある、そして私たちだけでは限界があると感じています。

主催者である私たちは、まず声がけをして人と人を繋げるパイプ役であり、旗振り役です。繋げることでできることが増え、子ども食堂開催の他に季節のイベント実施や地域のイベントのお手伝いに参加し交流を深めています。

今できることをたくさんの方に協力してもらいながら地域を盛り上げていき、いざという時に助け合えるようなゆるく心地よい関係性を作っていけるように、また私たちのできる範囲みでなさんが楽しめるように運営・企画をしています。

場所の確保

沖村公会堂は自治会の会合でしか使われなかった場所でした。公会堂に久しぶりに入るきっかけがあり、ここで何かできないか、こんなに素敵な場所を使わないのはもったいないと思い、活動場所に決めました。

自治会に了承を得るため、私たちの子ども食堂についてプレゼンを実施し、過半数以上の承諾を得て借りることができました。

今現在は子ども食堂開催日と前日月に2日公会堂を借りています。子ども食堂を開催がたくさんの方が公会堂を知るきっかけとなり、利用者も増えてきています。

スタッフの確保

主に、地域ボランティアとして活動されている方、子育て世代の方、子ども食堂に興味を持ってきてくださる方、高校生・大学生など総勢15名程の方々にボランティアとして協力いただいています。人と人が繋がり、ボランティア間でも輪が広がり、ボランティアさんが増えてきています。また、当日来てくれた子ども達や子ども達の保護者さんに手伝ってもらっています。

ボランティアさんにも楽しんでもらいたい、無理をしてほしくないという思いから時間設定はせず、その日の都合のいい時間帯で来てもらい帰ってもらうようにしています。ボランティア同士みんなでご飯を食べるのも楽しみの1つです。

運営費の確保

愛知県・北名古屋市社協などの助成金や大人参加費などで運営費を確保しています。

参加者集め・告知方法

年間スケジュールを出し、学区内小学校・保育園に配布しています。また、地域掲示板、SNSにて告知しています。

活動内容

●開催日前日

午後に寄付の食材が集まります。その際、栄養のバランスや彩り、子どもが食べやすいように打ち合わせをして献立を決め、前日ボランティアさん協力のもと料理の下拵えをします。

●開催日当日

10時以降にボランティアさんに来てもらい、子どもボランティアも同時に受付、会場準備や調理補助等をしてもらいます。12時より配膳を始め、子どもたちには食べれるもの・量を確認しながら盛り付けます。畳の部屋で机に限りがあるため、相席でみんなでご飯を食べ、自分たちで食べた場所の片付けをして次の人に譲るシステムです。

●イベントも盛りだくさん

イベントは食後に開催することが多く、5月に五平餅を自分で焼いたり、12月にお餅つきをしたり、2月に本物の豆で豆まきなど季節のイベントも多々開催しています。

アピールポイント

子どもたちに『食』をテーマに食べることの大切さ・楽しさ・おいしさを伝えつつ、子どもたちに実際に体験してもらう大切さを伝えています。地域の協力もあり、季節でのイベントも多く開催しています。

来る人たちが安心して楽しめる場、子ども大人含めゆるく人との繋がりが持てる場になっています。

また、開催時には周辺道路のパトロールや誘導なども地域の方々が自主的に行い、地域全体で子どもたちを守り続けています。

活動で大切にしていること

コロナ禍で行事を楽しめず制限があった子どもたちが多く、本当にやりたいことを知らない、やりたくても我慢している子が多く、子どもたちの「やりたい」を大切にしています。

子ども食堂でできることをいくつか伝え、子どもたちにはやりたいタイミングで自主的にやってもらいます。大人がやるのではなく子どもたちが体験・経験することにより気付きが必ずあります。

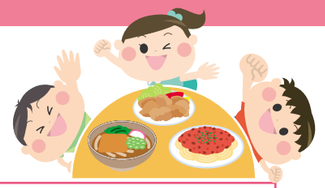
その中で活躍する子どもたちを見て、私もやってみたい!という子ども同士で意欲に繋がることも多いです。子どもだけではなく、大人にとってもいい刺激になり地域活動に一歩踏み出す方もいらっしゃいます。

今後に向けて

助け合う力が地域で芽生え始め、出来る範囲で細く長く続けていくこと、そしてちぃさん・コックさんという子ども食堂がどんなところかをもっと知ってもらい、子どもたちの目線に立ち、引き続き子どもたちの「やりたい」を大切にしつつ世代を超えて地域の輪を広げていきたいと思います。そのためにも人と人を繋げ、輪を広げることや旗振りをして実践していくことを心掛けています。

今の子どもたちが大人になり、子ども食堂で体験したことを振り返った時、今の自分に何が出来るのか?自分は何がしたいのか?今できることをしたいと思えるように次世代に繋げていきたいです。子どもたちや地域の人たちが活躍し楽しめる居場所づくりを作り続けていきます。

武豊町社会福祉協議会



●子ども食堂・居場所活動数
5か所
●支援内容
子ども食堂・子どもの居場所情報連絡会の開催
子ども食堂講座の開催、子ども食堂（居場所）応援募金
立ち上げや運営に関する相談
寄付のあった食料品等の提供、広報・PR活動

●連絡先
武豊町字長尾山2番地 思いやりセンター内
武豊町社会福祉協議会　地域福祉係
TEL：0569-73-3104

子ども食堂との関わり

武豊町では令和3年度に子ども食堂が誕生しました。それを機に、武豊町社会福祉協議会では「子どもの居場所づくり事業」を新たに始め、様々な支援に乗り出しました。

令和4年度には「あいち子ども食堂応援ステーション」の認定を受け、のぼりを掲げることで子ども食堂の存在を広く認識していただくよう努めています。

子ども食堂講座の様子

手伝いたい、始めたいを応援

令和4年度からは、住民さんに向けて年に1回「子ども食堂講座」を開催し、先進地の取り組みや武豊町内の子ども食堂の紹介などを行っています。

また、受講者からの希望に応じて、子ども食堂のボランティア体験へつなぎ、体験者からは「参加者が元気で、ボランティアさんも生き生きしていて楽しかった。今後もできる限り手伝いたい」などの感想をいただいています。そして、新たな子ども食堂の立ち上げや担い手としてつながっています。

子ども食堂間のネットワークづくり

令和5年度からは「子ども食堂情報連絡会」を年2回開催しています。町内にある子ども食堂や子どもの居場所を運営している方々に集まってもらい、各会場の取り組み状況や課題、社会福祉協議会への要望などを話し合っています。さらには、食堂・居場所同士のSNSグループを作り、寄付のあった食料品等の案内や助成金などの情報提供を行っています。

各会場の様子

地域・企業との連携

地域住民や子ども食堂、子ども会の親子とサツマイモづくりをしています。社会福祉協議会は、地域住民へ畑利用の依頼や苗の購入などを行っています。苗植えから収穫までみなさんと行い、収穫したサツマイモは一緒に作ったみなさんと分け、子ども食堂でも調理してもらっています。

サツマイモづくりの様子

また、ファミリーマートさんで実施している「ファミマフードドライブ」に町内3店舗で取り組み、住民さんから多くの食料品が子ども食堂に届けられています。

ファミマフードドライブで食料品を受け取っている子ども食堂からは「私たちも身近な場所で受け取ることができる。お菓子でも調味料でも物価高騰の現在、すごく助かる」とお言葉をいただいています。

ファミマフードドライブに寄せられた食料品寄付

今後の展望

今後は、参加したい人や応援したい人をつなげていきたいと考えています。そのために、開催場所や内容など町内の子ども食堂マップの作製やSNSでの積極的な情報発信などを行い、住民のみなさんの認知度を上げていきたいです。

武豊町内の子ども食堂の取り組み紹介

●わいわい子どもひろば in 大足（武豊町大足区）

令和3年12月「子どもや大人が交流できる場をつくりたい」という想いから大足区の住民と社会福祉協議会が中心となり「わいわい子どもひろばin大足」が誕生しました。

同ひろばは、保護者が不在になりがちな終業式と修了式に合わせ、年3回開催し、毎回約70名の子どもたちが参加しています。スタッフは、地元の元気な高齢者や民生委員など約30名が活躍しています。以前、同ひろばに参加していた子どもがスタッフとして来てくれることもあります。

食事は毎回趣向を凝らしたカレーライスです。おかわりをする子どもたちが多く、7升炊いたご飯は完食しています。

食事以外にも、遊びや学びの場となる時間も積極的に設けています。竹トンボなどの工作や地域の伝統産業でもある味噌蔵見学、モルックやカローリングなどのニュースポーツなどを子どもも大人も一緒に行っています。

回を重ねるとともに、子どもたちはスタッフと道端で会うと「カレーのおじさんだ!」と声をかけてくれることがあり、やりがいにつながっています。

スタッフからは「楽しい機会を沢山いただきありがたい」「ひろばで活動することがとても楽しみ」「これからも無理なく、続けていきたい」など、メッセージをいただいています。

年3回ではありますが、同ひろばは、大足区の異世代交流の場として定着してきているので、これからも無理なく、楽しく続けてもらえるよう支援していきます。

令和6年度「子どもの居場所づくり応援事業」実施報告書

1 子どもの居場所づくり応援事業について

愛知県社会福祉協議会では、令和元年度から、愛知県の補助事業として、「子どもの居場所づくり応援事業」を実施し、6年目となりました。

子ども食堂は、全国に広がっており、NPO法人全国こども食堂支援センターむすびえの2025(令和7)年2月調査発表によると、全国に10,867か所あり、昨年から1,735か所増えました。

愛知県においても、子ども食堂(愛知県調査)は、調査を始めた2017(平成29)年には56か所だったのが、2024(令和6)年度は518か所と年々増えており、各地域で取組が広がっています。

2 事業の内容

(1)「子どもの居場所づくり推進会議」の運営、検討部会の開催

事業の中核となるのが、「子どもの居場所づくり推進会議」(以下、推進会議)です。

推進会議において、子ども食堂の置かれている現状と課題について協議した結果、①資金と食材の確保、②地域との連携、③場所の確保、④人材の確保、⑤リスク管理の5つの課題が挙がりました。とりわけ、①の食材の確保について、推進会議や検討部会で議論がされ、子どもの居場所づくりに資する取組を行う団体等に対し、フードバンクの役割を担う「あいち子ども食堂応援ステーション」(以下、「あいステ」)の質の担保を図るため、認定制度実施要綱の一部改正を行いました。

●協議概要

推進会議第1回では、昨年度の協議内容に引き続き、子ども食堂の課題や協力策を検討いただき、各委員が自分たちの組織でできる協力策の実施状況等について報告いただきました。また、「あいステ」認定制度の運用や、「あいち子ども食堂応援ポータルサイト」(以下、「ポータルサイト」)を活用した情報発信について意見をいただきました。

推進会議第2回では、引き続き、各委員の協力策の取組状況、その効果や課題、また今後の予定等の情報共有を行いました。そして、推進会議第1回や検討部会で確認された「あいステ」と「ポータルサイト」での活動状況について報告し、ご意見をいただきました。

また、専門部会として、県内2地区で、検討部会を開催し、地域の状況の把握と課題の検討を行いました。検討部会は、前半で開催された「子ども食堂実践者研修会及び情報交換会」のグループワークで出された意見をもとに協議を行うと共に、支援者としての日ごろの思いや取組状況などを意見交換していただきました。

推進会議	2回開催
第1回	7月12日(金)
第2回	3月12日(水)

検討部会	2回開催
尾張・知多地区(名古屋市東区)	12月20日(金)
三河地区(豊田市)	1月28日(火)

(2) あいち子ども食堂応援ステーション研修の開催

あいステのあり方や運営のノウハウ等の情報交換を通して、あいステの地域拠点としての意識醸成や横のつながりの構築を図り、あいステや子ども食堂が円滑にコミュニケーションをとり、地域全体で居場所づくりが推進されることを目指し開催しました。

令和6年9月24日(火)
愛知県社会福祉会館
参加者:24名

●講　　義:「"あいステ"に期待すること−子どもと子ども食堂の現状をふまえて−」
日本福祉大学社会福祉学部　准教授
子どもの居場所づくり推進会議　委員長　中村強士 氏
●実践報告　特例認定特定非営利活動法人フードバンク愛知　川治竹史 氏
●情報交換会

(3)子ども食堂実践者研修会及び情報交換会の開催

子ども食堂の実践者や支援者の活動から、子ども食堂の多様性について理解を深め、子ども食堂を運営する方やこれから始める方、地域の福祉活動を支援する市町村社会福祉協議会等が、地域に根ざした子ども食堂のあり方をともに学び合うことを目的に開催しました(検討部会と同日の開催)。

(尾張・知多地区／名古屋市東区)
令和6年12月20日(金)
参加者:32名

●活動報告:一般社団法人つながり探究所　代表　中村真由子 氏
沖村子ども食堂ちぃさん・コックさん　代表　谷口ひとみ 氏
●トークセッション:コーディネーター　日本福祉大学社会福祉学部　准教授
子どもの居場所づくり推進会議　委員長　中村強士 氏
ゲストスピーカー　活動報告者2名
●グループワーク

(三河地区／豊田市)
令和7年1月28日(火)
参加者:25名

●活動報告:子ども食堂ほっとライス　代表　竹上富彦 氏
みんなの食堂(FUJIKAWA LOG+複合施設)　野村　郷 氏
●トークセッション:コーディネーター　日本福祉大学社会福祉学部　准教授
子どもの居場所づくり推進会議　委員長　中村強士 氏
ゲストスピーカー　活動報告者2名
●グループワーク

●子ども食堂実践者研修会及び情報交換会　2会場　参加者状況

種 別	実践者	準備中	あいステ	社 協	行 政	その他	合 計
尾張・知多(12/20)	10	3	7	6	3	3	32
三河(1/28)	7	0	4	7	2	5	25
合 計	17	3	11	13	5	8	57

～参加者の意見(一例)～

●子どもにホワイトボードにやりたいことを書かせた話が面白かったです。
●活動報告を聞いていて共感できることが多く、今後の展開についてとても参考になりました。

(4) 令和6年度支援対象児童セミナーの開催

子ども食堂運営者が困窮をはじめとした様々な生活課題を抱える子どもたちに気づいたとき、支援機関につなげるため、そうした子どもたちの特徴を学び、どのような相談先があるのかなどの情報を知ってもらうことを目的に開催しました。特に今回は、相談先として社会福祉協議会のCSWに焦点を当てて実施しました。

令和7年3月12日(水)
愛知赤十字会館
参加者:26名

●説　　明:「子どもの貧困−輝く未来に向けて私たちにできること−」
日本福祉大学社会福祉学部　准教授
子どもの居場所づくり推進会議　委員長　中村強士 氏
●事例報告:「CSWと子ども食堂のつながりのカタチ」
長久手市社会福祉協議会　加藤陽介 氏

●支援対象児童セミナー　参加者状況

子ども食堂	あいステ	社 協	行 政	その他	合 計
4	7	9	2	4	26

～参加者の意見（一例）～

●愛知県の子どもの貧困率が低いことが、困りごとを抱えた子どもを見つけにくという話が、目からウロコでした。

●制度の“はざま”を実感したことがあり、大人から子どもまでCSWの力を借りて支援がなされたらいいなと思いました。

(5)「子どもの居場所応援プラザ」の設置・運営

子ども食堂を開設・運営する上での様々な相談に応じるため、令和元年7月から専門の相談窓口として、「子どもの居場所応援プラザ」を愛知県社協ボランティアセンター内に設置し、随時、相談を受け付けています。

～相談の一例～

●子ども食堂を始めたい。資金や物資の援助について情報が欲しい。

●子ども食堂や学習支援に関心がある。研修会の予定があれば教えて欲しい。

●子ども食堂に食材を寄付したい。どうしたらいいか。

●相談件数(各年度2月時点)

内訳	2023年度	2024年度
子ども食堂	201	184
学習支援	120	251
両　方	22	26
応援ステーション	35	160
その他	14	22
合　計	392	643

設置場所

愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター事務局内
名古屋市東区白壁一丁目50番地 愛知県社会福祉協議会 2階
TEL：052-212-5504　FAX：052-212-5503
E-mail：info@aichivc.jp

(6) 情報発信

●ホームページによる情報発信

愛知県社協ボランティアセンターのホームページ内に子ども食堂の情報を掲載しています。

●2024年版愛知県「子ども食堂マップ」の作成

愛知県の調査を基に、令和6年10月現在の「子ども食堂マップ」を作成しました。このマップでは、県内で活動している子ども食堂のうち、掲載を御承諾いただいた子ども食堂の情報を集めています。随時追加も行っています。

※本会ボランティアセンターホームページから、ダウンロードできます。➡ http：//aichivc.jp

●機関紙「ぷらざ通信」の発行

子どもの居場所づくりに関わる活動や情報を広く知ってもらうため、子ども食堂や子どもの学習支援などの取組を紹介する機関紙を、PDFファイル形式で発行しています。

3 今後に向けて

今後も、子どもの居場所を子ども食堂だけでなく、学習支援なども含めて幅広く捉え、「子どもの居場所づくり推進会議」にて、議論していきます。

また、県社協が認証する食材提供の地域拠点「あいステ」の整備や、「ポータルサイト」による研修会や食材寄付などの有益な情報発信など、引き続き子ども食堂の設置・運営支援を推進していきます。

●2025(令和7)年度の具体的取組

●「子どもの居場所づくり推進会議」において、子どもの居場所の多様なあり方や運営上の課題など、子どもの居場所についての研究協議を推進する。

●「子どもの居場所応援プラザ」において、子ども食堂の開設・運営する上での相談に応じる。

●子ども食堂の開設・運営のため、地域における検討会や情報交換会を開催する。

●ホームページ、機関紙「ぷらざ通信」等の印刷物により、情報を発信する。

2024年版 子ども食堂マップ

ぷらざ通信 2025.3月号

子どもの居場所づくり推進会議 委員名簿

任期：2023(令和5)年4月1日～2025(令和7)年3月31日

No.	役職	選出区分1	選出区分2	所　属	役職名	氏　名
1	委員長	学識経験者	大学教員	日本福祉大学 社会福祉学科 (愛知県子どもの貧困対策検討会議構成員)	准教授	中村強士
2	副委員	子ども食堂関係者	あいち子ども食堂ネットワーク	あいち子ども食堂ネットワーク	代表	忠平　守
3	委員	社会福祉協議会	市町村社協代表 (西尾張)	愛西市社会福祉協議会	支援係長	竹村ゆき子
4	委員	社会福祉協議会	市町村社協代表 (東尾張)	日進市社会福祉協議会	係長	伊藤優子
5	委員	社会福祉協議会	市町村社協代表 (知多)	阿久比町社会福祉協議会	係長	守口晶三
6	委員	社会福祉協議会	市町村社協代表 (西三河)	西尾市社会福祉協議会	主任	佐伯智映子
7	委員	社会福祉協議会	市町村社協代表 (東三河)	田原市社会福祉協議会	主任	和田直美
8	委員	社会福祉協議会	市町村社協代表 (名古屋)	名古屋市社会福祉協議会	主査	大野裕代
9	委員	民間支援団体・企業等	NPO(学習支援)	NPO法人アスクネット	認定キャリア教育 コーディネーター	城取洋二
10	委員	民間支援団体・企業等	NPO(学習・生活支援)	NPO法人ママ・ちょこ	学習・生活支援 コーディネーター	松岡由里子
11	委員	民間支援団体・企業等	NPO(フードバンク)	NPO法人フードバンク愛知	理事長	宮尾久子
12	委員	民間支援団体・企業等	県内社会福祉法人	社会福祉法人中央有郷学院 児童養護施設ゆうりん	施設長	小尾康友
13	委員	民間支援団体・企業等	県内社会福祉法人	社会福祉法人太陽	理事長	榊原千恵美
14	委員	民間支援団体・企業等	共同募金	愛知県共同募金会	企画調整 課長	榊原英夫
15	委員	民間支援団体・企業等	農業協同組合	JA愛知中央会 営農・くらし支援部	次長	倉元陽平
16	委員	民間支援団体・企業等	生活協同組合	生活協同組合コープあいち 組合員活動支援部	次長	見山新一
17	委員	民間支援団体・企業等	協力企業(流通業)	株式会社セブン-イレブンジャパン (日本フランチャイズチェーン協会員企業)	総合渉外関東 行政推進担当	足立　翔
18	委員	行政機関	市町村代表	東海市役所　こども課	主任	木村智明
19	委員	行政機関	教育委員会	愛知県教育委員会あいちの学び推進課	課長	小野内茂喜
20	委員	行政機関	愛知県	愛知県福祉局児童家庭課	課長	吉田二朗

子どもの居場所づくり推進会議 要　領

1　目　的

本会議は、分野や組織の垣根を越えた連携・協働のしくみづくりとして、ネットワーク組織を構築し、子どもの居場所づくりのための具体的方策について検討・実践することを目的とする。

2　協議内容

本会議は、次の事項について協議する。

(1) 子ども食堂の設置拡大・基盤強化に関すること
(2) 子ども食堂の開設・運営についての研修会・交流会等に関すること
(3) 子どもの学習・生活支援に関すること
(4) 各市町村における相談支援体制の構築に関すること
(5) その他、子どもの居場所づくりに関する必要な事項

3　委員の構成

(1) 本会議の委員の定数は、２１名以内とする。
(2) 委員は、行政機関、社会福祉協議会、子ども食堂関係団体、民間支援団体・企業等の関係者及び学識経験者をもって構成する。

4　委員長及び副委員長

(1) 本会議には、委員長、副委員長を置き、委員の互選により選出する。
(2) 委員長は、本会議の議長を務める。
(3) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故のあるときは、その職務を代理する。

5　委員の任期

委員の任期は２年とし、欠員が生じた場合の補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6　作業部会の設置

本会議には、必要に応じて作業部会を設置することができる。

7　事務局

本会議の事務局は、愛知県社会福祉協議会地域福祉部に置く。

附　則

この要綱は、平成３１年４月１日から施行する。

附　則

この要綱は、令和２年９月１日から施行する。

あいち子ども食堂応援ステーション認定団体一覧

令和7年3月31日現在

	市区町村名	認定番号	団体名	代表者氏名	所在地	連絡先
名古屋市	東区	13	特定非営利活動法人キッチンキング子ども食堂	山野　元久	461-0003 名古屋市東区筒井2-11-24 葵ビル1F	090-1623-7297
	北区	36	あつまれほんわかキッチン	渡辺　善成	462-0052 名古屋市北区福徳町2-46	052-991-0904
	中区	17	地域食堂おいまつ	津田　豊郎	460-0012 名古屋市中区千代田2-7-28	090-5879-2017
	昭和区	22	一般社団法人つなぐ子ども未来	安藤　綾乃	466-0848 名古屋市昭和区長戸町5-46 つなぐハウス	090-3953-2561
	南区	9	ほんわか食堂	松土　敏子	457-0843 名古屋市南区忠次1-5-1	052-692-7544
	守山区	19	一般社団法人つながり探究所	中村　真由子	463-0009 名古屋市守山区緑が丘901 緑が丘センター 104	090-1622-0029
	名東区	31	元気もりもり食堂	安達　恵子	465-0011 名古屋市名東区山の手3-807	090-7023-2356
	名東区	35	特定非営利活動法人smileすまいる	火口　弥生	465-0086 名古屋市名東区代万町3-11-1 星ヶ丘ドクターズビル2F すてっぷ工房『あかね』内	052-753-8436
尾張	一宮市	6	のわみ相談所	三輪　憲功	491-0869 一宮市向山町1-10-4	0586-72-9697
	一宮市	29	NPO元気ふれあい倶楽部	水島　邦雄	491-0858 一宮市栄3-1-2　i-ビル3階 一宮市市民活動支援センター内	090-6616-7890
	一宮市	30	一般社団法人あいみんテラス	片山　智克	491-0854 一宮市北園通3-15	090-1583-7493
	瀬戸市	7	NPO法人エム・トゥ・エム	服部　悦子	489-0887 瀬戸市菱野台4-4-3 菱野ウィングビルA-4	0561-85-6282
	春日井市	28	就労移行支援事業所ふらっぷ	藤井　貴之	486-0825 春日井市中央通1-52 セントラルビル2F	0568-83-1181
	稲沢市	10	一般社団法人愛知子ども応援プロジェクト	藤野　直子	465-0023 名古屋市名東区石が根町5-103	090-8868-1743
	稲沢市	27	一般社団法人教育サポート協会	千葉　格	492-8143 稲沢市駅前2-4-7	090-9170-3750
	清須市	32	清須あおぞら子ども食堂	河上　博美	452-0908 清須市寺野郷前43-2	080-7034-0883
	清須市	33	星の宮ネットワーク	横井　秀則	452-0901 清須市阿原宮東205	080-4302-6808
	北名古屋市	1	NPO法人フードバンク愛知(北名古屋倉庫)	宮尾　久子	481-0011 北名古屋市高田寺砂場18番地	0568-65-6650
海部	津島市	26	つしまこども食堂	谷口　雅子	452-0835 名古屋市西区丸野2-81 トゥルッコ名古屋	090-2937-2547
	愛西市	11	町方ふれあい子ども食堂	水谷　智恵	496-8014 愛西市町方町大原75-3	090-7023-9152
	愛西市	25	社会福祉法人愛西市社会福祉協議会	原田　健三	496-8044 愛西市江西町宮西38	0567-37-3313
	蟹江町	2	NPO法人フードバンク愛知(蟹江倉庫)	宮尾　久子	497-0037 海部郡蟹江町1-114	0568-65-6650
知多	半田市	8	社会福祉法人半田市社会福祉協議会	加藤　金吉	475-0918 半田市雁宿町1-22-1	0569-84-2324(本部) 0569-25-0002 (ボランティア地域ささえあいセンター)
	常滑市	3	NPO法人フードバンク愛知(常滑倉庫)	宮尾　久子	479-0844 常滑市大和町1-155-3	0568-65-6650
	常滑市	15	社会福祉法人常滑市社会福祉協議会	桒山　和弘	479-0852 常滑市神明町3-35	0569-43-0660
	知多市	20	社会福祉法人知多市社会福祉協議会	渡辺　正敏	478-0047 知多市緑町32-6	0562-33-7400
	武豊町	14	社会福祉法人武豊町社会福祉協議会	中川　美知夫	470-2392 知多郡武豊町字長尾山2	0569-73-3104
西三河	岡崎市	18	特定非営利活動法人葵風	月東　佳寿美	444-0075 岡崎市伊賀町7-106	090-8458-7844
	刈谷市	4	子ども食堂ほっとライス (特定非営利活動法人西三河在宅介護センター内)	竹上　富彦	448-0821 刈谷市御幸町3-78	0566-28-0500
	豊田市	12	龍の子	大羽　文美	471-0852 豊田市御幸町3-66-2	090-7439-8264
	豊田市	16	西三河子ども食堂応援ステーション	山内　健二	471-0802 豊田市志賀町山の神506-3	090-8151-7935
	豊田市	21	一般社団法人このき	中川　美知子	471-0869 豊田市十塚町2-1 コーポとつか103	090-9908-1910
	西尾市	23	フードバンクにしお	布間　裕子	445-0852 西尾市花ノ木町2-1	0563-56-5900
東三河	豊橋市	5	NPO法人東三河フードバンク	柏熊　光代	440-0806 豊橋市八町二丁目16 豊橋市職員会館1F	0532-75-3826
	豊川市	24	豊川市更生保護女性会	内藤　幸子	442-0826 豊川市牛久保町稲市場22	090-8158-2951
	豊川市	34	子どもの味方協会	早津　小波	442-0834 豊川市西香ノ木町1-39-3	090-3562-4990

子どもの居場所 応援プラザ

相談専門窓口

地域における子どもの居場所として、子ども食堂の取組が広がっています。
そこで、子ども食堂を開設・運営するうえでの、様々な相談に応じるため、
専門の窓口を開設しました。

あなたも「子どもの居場所」に関わってみませんか

子ども食堂を
やってみたい。

どんな活動を
しているの？

余った時間で
何かお手伝い
してみたい。

応援プラザ
設置場所

愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター内

名古屋市東区白壁1丁目50番地　愛知県社会福祉会館2階

TEL 052-212-5504　FAX 052-212-5505　Eメール info@aichivc.jp

※本事業は、愛知県の補助を受け、愛知県社会福祉協議会が実施しています。

「あいち子ども食堂応援ポータルサイト」について

あいち子ども食堂応援ポータルサイト

※詳細は下記のアドレスか二次元コードより
ホームページにアクセスしてご覧ください。
URL：https://www.aichi-kodomoshokudo.jp/

あいち子ども食堂応援ポータルサイトとは

愛知県社会福祉協議会では、愛知県の補助を受け、子どもの居場所としての「子ども食堂」の設置・拡大を図るため、2019年から「子どもの居場所づくり応援事業」を実施しています。

「子ども食堂」の情報発信基地として「あいち子ども食堂応援ポータルサイト」を開設し、ホームページ上で子どもの居場所に関する情報を随時掲載しています。

「子ども食堂や学習支援について知りたい」、「子ども食堂を開設したいけど、どうしたらいいですか？」「子ども食堂へ食材を寄附したい」など、お気軽にお問合せください。

このポータルサイトは赤い羽根共同募金配分金により作成しました。

「あいち子ども食堂応援ステーション」の認定制度について

あいステ

あいち子ども食堂応援ステーション

愛知県社会福祉協議会では、2022年4月から、あいち子ども食堂応援ステーション（通称：「あいステ」）の認定制度を開始しました。

この「あいステ」は、企業等からの寄付食材等を一時的に保管し、近隣地域の子ども食堂などに提供する各地域の拠点のことで、県内36の団体（2025年3月現在）が認定を受けています。

食材等の提供をいただける皆様へ

「あいステ」に食材等の寄付をご希望の方は、愛知県社会福祉協議会 地域福祉部までご相談ください。皆様からのご寄付をお待ちしております。

問い合わせ先　愛知県社会福祉協議会地域福祉部　TEL 052-212-5502　FAX 052-212-5503

子ども食堂を運営されている皆様へ

「あいステ」を利用されたい場合は、認定団体一覧からお近くの「あいステ」をお探しいただき、ご相談ください。

※あいステ認定団体一覧は、下記のアドレスか二次元コードよりご確認いただけます。
URL：https://www.aichi-kodomoshokudo.jp/